

SADA

SAKAI DESIGN ASSOCIATION

堺デザイン協会

No.11

平成3年3月31日



大小路から新庁舎を眺む

SADA創立五周年記念パーティー開催

平成2年3月9日、堺デザイン協会創立五周年記念パーティーをホテルリパティ・プラザで開催した。

当日は、堺市・商工会議所・大阪府・デザイン関係団体など、ご来賓とSADA会員・賛助会員をあわせて83名の参加を得ることができた。

パーティーに先立ち、裏千家教授・貴志宗江先生の記念講話「お茶とお花を通じての私」を拝聴した。

パーティーは、川崎理事長の挨拶にはじまり、ご来賓の岸昌大阪府知事、原田孝大阪府会議員、幡谷豪男堺市長、木本安二堺市議会議長の心のこもった励ましと、堺デザイン協会に寄せる期待の祝辞をいただいた。

また、近畿通商産業局長はじめ多数の方々からの祝電を披露した。

大阪府立大学学長 矢吹萬寿先生の力強い乾杯の発声を機に、懇親の小宴に入った。

歓談が続くなかで、沢村徹大阪デザイン団体連合代表の元気あふれるスピーチが入り、楽しい雰囲気の中にも、堺デザイン協会に期待される重責を痛感した。五周年という節目と共に、また一步前進した活動展開を心に期し、岡村事務局長の閉会の挨拶で、無事盛会に終了した。

— 記念講話 「お茶とお花を通じての私」 —

裏千家教授 貴志 宗江 先生

先程本日ご出席の方々の名簿を拝見いたしました。学術、政界の方々がたくさんご出席になっていらっしゃいます。心がふるえるおもいでございます。また本日は、私がどなたよりも尊敬申し上げております田辺 竹雲齋先生が、私のためにおいでいただいておりますので、本当にありがとうございます。

茶道というものにはいろいろな指導方法があると思います。学術的に教える方や、技術的に教える方、主に作法を教える方などがございまして先生によって違いがありますが、私はモットーとして、技術の前に、お稽古に入



講話中の貴志宗江先生

る前に、その基礎であるべき作法を身につけていただくのが大切だと思っております。

今ごろの婦女子の方は「ありがとうございます」「こんにちわ」「はい」ということが割合に言えないんです。若いお嬢様方は、殆ど襖の開け閉めをご存じありません。お稽古にいらっしゃって、玄関に入るとき黙って上に上がられます。「こんにちわ、お世話になります」がなかなか言えない…上がる時に履物をそろえることもできません。お茶を立てて、いかにおいしいお茶を皆様へ差し上げられるかという、その心が出来ていなかったら、お茶というものを習う必要はないんです。

私はその心をまず皆様へ植えつけなければならないと思ひまして、今のお嬢様のあり方というものを基本に指導してまいりました。私が今一番うれしく思いますのは、お母様方が「先生ありがとうございます。うちの娘ねえ先生のところへお預けしてから“おかあさん、ありがとうございます”“おやすみなさい”“おはようございます”“いってきます”ということが言えるようになりました。」とおっしゃるんです。私は本当によかったなとおもいますし、それが指導者としてなによりの喜びでございます。

ご縁談もそうでございますが、お稽古ごとくもご縁でございます。ご縁をいただきましたからは、私の持っておりますものは全部お伝えするつもりで今まで励んでまいりました。

人と人との出会いというものはまことに不思議なものでございまして、私がこうして本日おこがましくも皆様の前に立たせていただきましたのも、高木さま、川崎理事長さ

まとの出会いがあったからでございます。

私は、70数年生きてまいりましたが、その間に色々な方とのめぐりあい、出会い、私のおもいが数々ございました。その中で、本当に素晴らしい人に出会わせてもらいましたのは田辺竹雲齋先生でございます。

お茶の道には〈徳は万丈の礼を以てなす〉という言葉がございますが、竹雲齋先生はまさにそのとおりの方でございます。私の息子の仕事の関係で先生にインタビューをお願いすることになりまして、スタッフの方と私、息子の5人ほどでおじゃまいたしました。雲の上の方だとばかり思っておりました先生は、いとも簡単にお引き受け下さいまして、まことに丁寧にお話しをしていただきました。駆け出しの息子、青二才に対しても対等にお相手をしてくださいました。その時ひょっと〈徳は万丈の礼を以てなす〉という言葉思い出したのです。これは正に竹雲齋先生のことをいうんやなァと…初めてお茶の言葉って素晴らしいんだなァと、その時また深くお茶をしている自分に誇りを感じたのでございます。

お茶の心というものは、ただお茶を立てて、お手前を覚えてお茶会をするというのではなくて、〈徳は万丈の礼を以てなす〉という精神そのものだと思います。

それからもう一つお茶の言葉に「一より習い十を知り、十を知ってまた元のその一」という、これはまた大事な教えがあります。4月に京都で利休忌のお茶会が行なわれますが、先日その講習に一週間ほど行ってまいりました。その時、家元は「一より習い十を知り、十を知ってまた元のその一」という言葉を6日間朝晩おっしゃるんです。午前中の講義にも、昼からの講義にも全部おっしゃる。

そこで家元は「皆さんはその中の何番目まで教えを受けたと思っていますか？」とお聞きになられまして私を指されたんです。私は一瞬何と答えていいかドキッとしたのですが、「申し訳ございません。私、指導を始めてから35年ですけれども、まだ一にも到達しておりません。」と申し上げましたところ、家元はにこっと笑われて「貴女はお茶の心に入っているね。」と申されました。

先日、竹雲齋先生のところへ伺いました時、先生の「なあ貴志さん、作品でも頂点まで達したらまた、無にならないかん。無にならないければまた、頂点に達することは不可能やな。」という言葉をお聞きしました。私はこれが家元から言われている「一より習い十を知り、十を知ってまた元のその一」の姿やなァと思ったのです。「私もそのくらいのことは知っているわい」と心で思ったのですが、そうしたら先生が「なあ貴志さん、無になって、無から始まるときに、お色気をつけなければいかんわな。」っておっしゃられたのです。私は、本当にいい作品をなさる方のおっしゃることはちがうなァ…と思いました。一から習って十を知ってまたもの一にかえる…その時の一は全く元の一ではなくて、一にもいろいろあるんだなァ…ということをお家元には教えてもらわなかったけれど、竹雲齋先生に教えていただいたのです。

私は大阪の浪速区に生まれて、和歌山に嫁いだのですが嫁ぎ先の貴志の母が私によく言い聞かせてくださったことがあります。今は、お弁当にしても温かいまま冷めにくいお弁当箱がありますでしょ。昔はそういうものはありませんので、真綿を入れて風呂敷を縫います。お弁当箱をその風呂敷に包んで少しでも冷めないようにして子供に持たせました。寒い日の朝は炭火で靴下を暖めて履かせたということです。私はそういう母親は年老いて子供たちが巣立っていったあとが本当に惨めだと思ったのです。子供に全力投球をして主人に文句の一つも言わず仕えてきて、私は気の毒にこんな老後はとてもかなわないと思いました。ですから私は歳をとっても皆さんに囲まれて皆さんのお役に立てるような、そんなふうな歳をとらなあかんと思ったんです。私は女学校の頃からお茶のお稽古をしておりましたが、主人の理解をいただいて子供ができてからもこれを続けることができました。今、主人も亡くなり娘と息子もそれぞれかたずきましたが、まァあの時はよう頑張っ…とお義母様をお手本にさせていただいております。私の先生はお家元ではなく、私の義母だと思っております。

私は、子供はみんな親の作品だと思っております。そう

したらその作品が良くても悪くても満足できるでしょう。全力投球で育ててきた作品がどういう形であろうと、その作品に拍手をおくりたいと思います。私たちが子供を育てた時代と、今は違いますけれども、出来上がった作品には変わりはないと思うのです。ちょっと茶道からはずれましたけれど、茶道につながる教訓だと思っております。

私は、お花を18才の時から習ってまいりました。ここ10年前までは山村御流に所属しておりました。恩師の先生が大病をいたしましてお花を指導していけなくなり山村という流派をやめることになりました。私も先生の心を思い他の先生にまた教えていただくことはやめようと決心いたしました。香山流という…純然たるお茶花なんですけれど新しい流儀を立てさせていただきました。

私は、お花というものはもっと自由であっていいとも思っておりました。規則に縛られず、花器がこれだけだったら伸びがこれだけ、それに対する前、後ろ、そういう規則めいたことは花をいじめることだと思ったのです。花と花器と、おく場所の調和があったら、どんな花でも私は絵になると思います。この頃はコンクリート打ち放しの建物が多く見られますけれども、私の花はこのコンクリート打ち放しの片隅におくととっても素晴らしいだろうなと自惚れております。私の花は野にある花を主につかっておりまして少々扱いにくうございますが、お稽古では私は自由に生けさせております。

この間息子が設計いたしました住宅を拝見する機会がありましておじゃましたのですが、そのお茶席へ通していただきました驚きました。お茶席の欄間にステンドグラスがはまっているんです。それがまたなんともよくまわりに調和しているんです。帰り道に、ガラスと野の花との組合せはどんなものになるかなと連想いたしました。

ガラスの花器といえば洋花が常識ですが、一度ガラスの花器に日本の花—野の花—日本の花をガラスの器に入れてみたらどうだろうか…と考えましてその後の花展にクリスタルの花器に藤の花を入れて出展いたしました。

よかったですね。ものすごく好評でした。

私は80歳には80歳の若さがある、70、60、50とそれぞれに若さがあると考えております。竹雲齋先生とお会いしておりますと、ものすごくお色気を感じます。このお色気がこの作品を生みだすのだなァと思います。

皆様も年齢に関係なく心の若さをいつまでもお持ちになってくださいませ。

本日はこのような記念すべき日に私ごときものをお呼びいただきましてありがとうございます。これを機会にますます勉強を重ね、視野を広めてまいりたいと思っております。本日は誠にありがとうございました。

(文責 山崎)

来賓祝辞

大阪府知事 岸 昌 様

(代読 大阪府商工部ソフト産業振興課長 遠山 攻 様)

堺デザイン協会の設立五周年を心からお喜び申し上げます。

皆様方の協会は府下で唯一のデザイン団体として調査、研究や、研修事業による会員のデザイン力向上、さらには広報、啓発事業によるデザインの普及など、積極的な取り組みを通じて、地域社会の発展に大きく寄与してこられました。

川崎理事長はじめ、会員の皆様のご努力に対し、心から敬意を表する次第でございます。

近年、我が国の経済はソフト化、サービス化が急速に進展し、人々はより豊かでうるおいのある生活を求めるようになってまいりましたが、こうした中で暮らしに彩りを副えるデザインの果たす役割は、年々重要性を増しております。



矢吹大阪府立大学学長のご発声による乾杯

大阪府といたしましても、このような観点からデザインの研究、相談や、人材の育成などデザインの振興に積極的に取り組んでまいりたいと存じます。また、関西国際新空港や、関西文化学術研究都市の建設などのビッグプロジェクトを促進し、21世紀に向け、交流と創造の時代、新しい豊かさの時代を先導する国際文化都市大阪を築きたいと存じます。

いよいよ4月には花の万博が開催されますが、大阪府といたしましては、この大イベントに国内外から広くご参加いただくため、花の万博大阪観光キャンペーンを推進しております。大阪を訪れる人々に爽やかで快適な印象を持っていただくために、皆様方には環境デザインをはじめ、あらゆる分野で大阪のデザインの真価を発揮していただくことを期待いたしております。

また今後とも地域社会に根ざした創造活動を展開され、潤い豊かな大阪づくりに一層のご尽力を賜りますことをお願い申し上げます。

終わりに、この度の設立五周年を飛躍台に、堺デザイン協会がますます発展されますことと、ご参集の皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます、御祝いの言葉といたします。

平成2年3月9日 大阪府知事 岸 昌(代読)

本日はどうもおめでとうございます。



出席のSADA会員の面々

堺デザイン協会第7回総会

■日時平成2年6月1日(金)

■場所ホテル サンルート堺 ●開会午後6時15分

●同村事務局長より出席状況報告-会員47名中出席12名委任状提出者13名で過半数を確保し、総会開催の成立を報告

●議長挨拶 川崎理事長-平成元年度は当協会創立五周年を迎え、会員諸氏のご協力に感謝し、今後の協会発展のために一層の努力をお願いしたい。との挨拶があった。

■議 事

第1号議案 平成元年度事業報告及び収支決算報告

●高木理事より研修事業報告

SADA創立五周年記念講話と記念パーティーが開催され、関係官庁・関係諸団体ご来賓多数のご参加を得、盛会であった。

●金子理事より広報事業報告

SADA創立五周年記念号を刊行し、会員、賛助会員及び関係官庁・関係諸団体へ広く配布した。

●同村事務局長より普及・啓発事業報告

堺新製品フェア'89と「住まいのまつりin堺」に審査員と講師及び相談員の派遣、堺デザイン協会賞の贈呈。

●森理事より収支決算報告

●老監事より会計監査報告

第2号議案 平成2年度事業計画(案)及び収支予算(案)

●高木理事より事業計画(案)の説明提案

●森理事より収支予算(案)の説明提案

全員一致で平成2年度事業計画(案)が承認された。

その他

●同村事務局長より新名簿を作成予定との報告

●新入会員黒川昌彦氏の紹介とご挨拶

●新賛助会員黒川梅行商店黒川眞男社長の紹介とご挨拶

●賛助会員代表者交代 村上敷物 村上健社長のご挨拶

●閉会 午後7時

引続き懇親会に移り、新入会員、新賛助会員、を囲み今後の各会員の抱負等を語り合い、和気あいあいのうちに時間が過ぎ去り、有意義な懇親の時を過ごした。(金子)

デザインに関する世論調査

平成元年は名古屋でデザイン博覧会が開催されたこともあり、国民の中にデザインへの関心はかなり高まった年でありました。デザイン博覧会が色々な問題を投げかけて終了したあとの11月、通産省はデザインに対する国民の意識調査をおこない、平成2年3月内閣総理大臣官房広報室より発表されました。

デザインに関して行政が行なう調査は今回が初めてです。皆さんのデザイン活動にも参考になるところが多いと思われまますので、以下その概要をお知らせいたします。

I. 調査の目的：デザインに対する国民の意識を調査し、今後の施策への参考とする。

II. 調査項目：①デザインへの関心
②デザイン・イベント
③デザインと生活

III. 調査対象：①母集団/全国20歳以上の者
②標本数/3,000人
③抽出方法/層化無作為2段抽出法

IV. 調査時期：平成元年11月22日～12月3日

V. 調査方法：学生調査員による個別面接調査

VI. 回収結果：①効回収数/2,267人 (75.6%)
②調査不能数/733人 (24.4%)

VII. 性・年齢別回収内訳

性別	割合
男	49%
女	51%
20～29歳	18%
30～39歳	20%
40～49歳	22%
50～59歳	19%
60歳以上	22%

VIII. 職業別回収内訳

事務職層	28%
管理職層	10%
産業労働者層	15%
商業労働者層	16%

自営・高工業者層 14%

自由業者層 0% その他・無職層 9%

回答

Q1. あなたは、デザイン展やデザインセミナーなどのイベントを見学したり、参加したことがありますか？

i. ある	18.4%
ii. ないが今後したいと思う	7%
iii. ない	73.5%
iv. わからない	1.1%

Q2. あなたは「デザイン」という言葉にどのようなイメージをお持ちですか？(いくつでも)〈M.T.〉

i. おしゃれ・ファッションブル	53.6
ii. 美しい・きれい	37.5
iii. 楽しい・明るい	22.8
iv. 流行	48.1
v. 新しい	26.2
vi. ムダ	3.4
vii. 派手	10.1
viii. ものまね	2.7
ix. 創造性	47.9
x. その他	0.6
xi. わからない	5.2

〈M.T.=258.3〉

Q3. あなたが聞いたことのあるデザイン用語を次の中からいくつでも選んでください〈M.A.〉

i. インダストリアルデザイン	32.0
ii. ファッションデザイン	84.6
iii. インテリアデザイン	81.1
iv. ジュエリーデザイン	42.0
v. クラフトデザイン	43.8
vi. パッケージデザイン	40.7
vii. グラフィックデザイン	37.8
viii. 環境デザイン	17.6
ix. どれも聞いたことがない	6.0

x. わからない | 0.1

<M.T.=385.8>

Q4. あなたのふだんの生活の中で、デザインは重要だと思えますか？それとも重要だとは思いませんか？

i. 重要だと思う ■■■■ 59.9%
 ii. 重要だと思わない ■■ 13.6%
 iii. 一概には言えない ■■■ 19.5%
 iv. わからない ■ 7.0%

Q5. あなたの生活の中で、今後もっとデザインを取り入れる必要があると思うものは何ですか？次の中からいくつでも選んでください<M.A.>

i. 趣味・レジャー用品 ■■■ 19.5
 ii. テレビ・ビデオ・オーディオ製品 ■■ 11.3
 iii. 日用品 ■■■■ 25.1
 iv. キッチン・食卓・家事用品 ■■■■ 31.2
 v. 家具・インテリア ■■■■ 41.9
 vi. 住宅設備 ■■■■ 35.0
 vii. オフィス・店舗用品 ■■ 13.5
 viii. 教育用品 ■■ 10.8
 ix. 医療・健康・福祉機器 ■■ 10.0
 x. コンピュータ・ワープロなどの情報機器 ■ 5.7
 xi. 自動車・オートバイ ■■ 13.9
 xii. 公衆便所・ベンチ ■■■■ 29.1
 xiii. 衣料品（ファッション） ■■■■ 26.2
 xiv. その他 | 0.3
 xv. 取り入れる必要はない ■■ 11.9
 xvi. わからない ■■ 10.4

<M.T.=295.5>

Q6. では、あなたが今住んでいる街の環境の中で、もっとデザインを取り入れる必要があると思うところはどこですか？次の中からいくつでも選んでください<M.A.>

i. 商店街 ■■■■ 30.3
 ii. 公園・広場 ■■■■ 44.1
 iii. レジャー施設 ■■ 13.7
 iv. 道路・標識・歩道橋 ■■■■ 35.3

v. 港湾施設・河川 ■■ 9.2

vi. 駅・空港 ■■■■ 21.0

vii. 住宅地 ■■■■ 17.2

viii. その他 | 0.2

ix. 取り入れる必要はない ■■ 11.6

x. わからない ■■ 11.3

<M.T.=193.9>

Q7. あなたは、身の回りにある製品のデザインを見て生活の豊かさを感じますか？この中ではどうですか？

i. 感じる ■■■■ 30.1%
 ii. ある程度感じる ■■■■ 39.6%
 iii. あまり感じない ■■■ 19.7%
 iv. 感じない ■■ 6.8%
 v. わからない ■ 3.8%

Q8. あなたは、商品を購入するときどのようなところを重視して選びますか？次の中からいくつでも選んでください<M.A.>

i. 品質(性能・安全性・耐久性) ■■■■ 82.6
 ii. 使いやすさ ■■■■ 77.8
 iii. 流行 ■■ 14.0
 iv. デザイン ■■■■ 34.8
 v. 価格 ■■■■ 76.3
 vi. ブランド・メーカー ■■ 13.4
 vii. インテリアや所有する他の製品との調和 ■■ 15.1
 viii. その他 | 0.2
 ix. わからない | 1.1

<M.T.=315.4>

Q9. [カード1] このマークはデザインが優れた商品に付いているGマーク(グッドデザインマーク)ですが、あなたは、このマークを知っていますか？知りませんか？

i. 知っている ■■■■ 58.4%
 ii. 知らない ■■■■ 41.6%

SQ. では、商品を購入するときGマーク商品かどうかということを考えますか？それとも考えませんか？

i. 考える ■■■■ 36.1%



朝日新聞堺工場見学会報告

11月16日正午、堺市八田寺町に今春完成した、朝日新聞堺工場を見学。参加者15名。事実を正確、迅速には元より必要な情報を見易く美しく伝えるというニーズに伴い、世界最高水準を誇る、最新鋭施設を備えた工場である。

中之島の本社で編集され、組み上がった紙面が、光ファイバーを使ってファクシミリで電送されてくる。それを自動現像機でフィルム化し、高速自動製版機でアルミ板に焼き付ける。この間僅か15分で刷版が完成する。これを高さ16mの高速オフセット輪転機、4組にかけ印刷する。折り畳まれ繰り出された新聞は波となって流れ、ビニールで梱包されて行く。1組の輪転機で、20ページまでの新聞なら1時間に14万部というスピードで印刷され、朝刊で57万部夕刊で43万部が、大阪中南部、奈良、和歌山、三重の一部に発送されて行くということである。1本1.2tもある巨大なロールの巻き取り紙の運搬から輪転機への供給、そして刷り上がった新聞の煩雑な仕分けから、トラックへの積み込みまで、ほぼ完全にコンピューターで制御され、自動化された工場内に見かけられる係員は数人であった。

1862年新聞が我国で初めて発行された当時、ただ事実の報道だけで良かった時代から、情報社会へと移り、時々刻々と変化する世界情勢や経済動向、多種多様化する情報を伝達する為のものへと変り、その制作時間短縮化に見られるめざましい技術革新の進歩に、今更ながら驚嘆した見学会であった。今後のニューメディアの普及に伴う高度情報化社会が、溢れる情報洪水の中から、個々の価値感にあったものを、取捨選択する時代となるであろうと思ひながら、刷り上がったばかりの、インクの臭いも真新しい夕刊を頂いて誰よりも早く読めたことに、暫くではあるが時代の先端を行ったような気分になり、工場を後にした。

写真：朝日新聞堺工場玄関前にて。

(上野あきら)

ii. 考えない ■ 59.6%

iii. わからない ■ 4.2%

Q10. あなたは、デザインに関する情報の提供などを行なう総合的な施設(デザインセンター)があったら利用したいと思いますか?それとも利用したいとは思いませんか?

i. 利用したい ■ 27.9%

ii. 利用したいとは思わない ■ 51.8%

iii. わからない ■ 20.2%

Q11. [回答票8] あなたは、企業のイメージをどのようなところから感じ取りますか?次の中からいくつでも選んでください<M.A.>

i. 広告・宣伝から ■ 71.1

ii. その企業の製品から ■ 54.1

iii. ロゴ・シンボルマークから ■ 9.3

iv. 知人・友人の情報から ■ 22.2

v. その企業の業績から ■ 22.1

vi. 展示会・見本市から ■ 18.6

vii. その企業の公共・福祉活動から ■ 6.4

viii. その他 | 0.3

ix. わからない ■ 6.3

<M.T.=210.2>

Q12. あなたは、平成元年度が「'89デザインイヤー」となっていることを知っていますか?知りませんか?

i. 知っている ■ 10.9%

ii. 知らない ■ 89.1%

Q13. [カード2] これは、「'89デザインイヤー」のマークですが、あなたは、このマークを見たことがありますか?ありませんか?

i. ある ■ 4.2%

ii. ない ■ 91.9%

iii. わからない ■ 4.1%

計 報

村上 敏氏逝く

平成2年3月16日 SADA賛助会員株式会社村上敷物社長村上敏氏が急逝されました。享年68才でした。平成元年10月の同社工場見学ではご自身から案内役を



買って出られるなど、SADAの活動については一方ならぬご協力を頂きました。ご多忙の中SADAのパーティーには欠かさずご出席され、あの豪快な大声で、いつもパーティーの中心的存在でした。3月18日の告別式当日は、雲ひとつなく晴れ上がった空に風速20メートルの台風級の強風という荒れ模様の天候でした。正に怪物村上社長を送るにふさわしい背景と思われましたが…。いまだに信じられない我々ですが、心からご冥福をお祈りしたいと思います。(合掌) <写真は五周年記念パーティーでの故村上敏氏>

以下は告別式に友人代表として出席された川崎理事長の弔辞です。

弔 辞

昭和十年京都二中から転校してきた。早速ついた渾名はカッパ。爾来五十五年共に戦争をくりぬけ、戦後の混乱を生きぬいてきた。

まさしく激動の昭和の時代を君は息つく間もなく駆け通してきた。もう走ることもない。今は文字通り平成の時代となった。人生七十、古来稀なり。古稀を目の前にして君は走るのを止めた。ゆっくり歩けたのに。走り走りつづけた。もう、走ることも歩くこともない。そう、ゆっくり休んでくれ。

クラスメートが今集まっている。同窓会ではない。君を送るために。

何とも寂しい。さようなら。 友人代表 川崎 浩

新会員プロフィール

■賛助会員

株式会社黒川梅行商店 代表取締役 黒川眞男

当社の製品「さぬき和三宝」の由来を少しご紹介しますと、天明8年(1788年)それまで薩摩藩の禁制品であった砂糖キビを苦心の末入手し、讃岐(現在の香川県)の引田で栽培、我が国で初めて白砂糖の製造に成功した向山周慶という医師がありました。以来我が国の白砂糖は、和三盆糖と呼ばれ、さぬき三本松港から大阪へ入り、全国各地へと出荷されるようになりました。戦争による食糧難や、その後の大量機械製糖による影響で、一時期消えかかっていたこの純日本産の砂糖を、先代黒川梅行が何とか守りつづけてくれたお蔭で、今日に継承されています。

今では独特の口ほどけのよさ、旨さ、砂糖キビの持つ風味など精製糖にない高級で「旨い砂糖」として全国高級和菓子の老舗は勿論、現代グルメの方面にもご好評をいただいています。

■黒川昌彦 (くろかわ まさひこ)

はじめまして、株式会社黒川梅行商店の黒川昌彦と申します。我社では和三盆糖という高級な砂糖を香川県で生産し、和菓子の原料や、お干菓子として全国の菓子店に販売しております。

私の仕事は、主として営業ですが、商品企画も担当しており、オカムラデザインプロの岡村さんの勧めもあり入会させて頂きました。

この間はじめて、会の立食パーティーに参加させてもらい、いろいろな業界の方とお話ができ参考になることもたくさんあり、有意義な時を過ごすことができました。

これからも、会の行事には積極的に参加していきたいと思っておりますので、みなさんどうかよろしく、お願いいたします。

 企業が創る

ざん新さが受ける小型トラクタ「アステ」

株式会社 クボタ

全農家の70%を占める第2種兼業農家の期待に応えて「静かさ、使いやすさ、豊富なオプション（注武装備）」にポイントを置いた小型トラクタ「アステ」。静かなトラクタを目指し「REFシステム」という新方式を採用しました。現行のトラクタでは最も低く抑えています。高齢者や女性オペレーターを配慮して、居住空間を広く、乗降しやすくするためデッキ部を平らに、操作部は見やすく、扱いよくするために手に集中させています。稲作作業中心から、畑作や果物栽培など転作が進む状況に対応して、全高を同じに保ちながら最低地上高を310ミリと、従来より70ミリも高くして作物が傷むことを防ぐ構造にしております。「小規模農家向けに、農作業の多様化に」新しいコンセプトを訴えるざん新な設計となっています。デザイン面では、この新概念を受けとめ、前方視界のよい先頭部を傾斜させた

ボンネットをはじめ、トラクタ全体を丸味基調としたスタイリングは高齢者や女性に親しみやすさ、安心感を与えて好評です。「見て美しく、乗って優しい」というデザインコンセプトを十分に表現している小型トラクタ「アステ」は、いま、農機市場で快進しています。



 Eースポット

中国料理 泰平樓

岡村 篤

世界中どここの国へ行っても中国レストランがあるという。日本人の口に馴染みやすいのは同じモンゴロイドが醤油味で作る料理だからだろうが、又これ程ピンからキリまでの料理もめづらしい。どうも中華料理と言えば油ぎってうっかり壁にもたれようものなら油よこれがベトリ服につきそうなイメージがある。ある人に言わせれば、きたないのも味の内とか……

大そう清潔な店である。小ざっぱりとしている。大きな店ではないが店内は勿論、食器やテーブルの小物も汚れているものは一つもない、料理が又同じ感覚だ。どの品も皆気配りがゆきとどいている。店主は一言も口をきかずに唯手際よく調理に専念する。その分奥さんが余計店内に気を配っている。ギョーザが出た。「ラー油ありませんか」と声をかける。此処ではラー油がないと断られた、それぞれ材

料素材の味を生かしたいと言うのは日本料理に通ずる信条のようだ。紹興酒は中国から瓶で入れている。青島麦酒も置いてある。中国製のワインもあるがワインづくりの伝統はまだまだ中国では浅いようだが幼稚さむき出しのよさを漂わせているのが又何とも言えない。



(堺市甲斐町西3-1-4:0722-32-5734)

 堺・今・昔

未来へつなぐ堺の伝統

老 健一

さいきんよく耳にする“発信基地になれ”という言葉が有ります。発信基地というのは、新しい情報の送り手に、多少羨望の意味を込めておくる表現であると言えます。現在の日本では、ほとんどの情報が東京を中心に発信されていると言っても良いでしょう。東京に一局集中すると非難する声が高いのですが、新しい方向づけを発信する所に多くの方が、企業体が集まってもやむを得ないと言わねばなりません。

堺は“黄金の日日”といわれた、かつての輝かしい発信基地であったと言えます。それは、“ものの始まり何でも堺”と歌われているほど、中世の堺は日本の海外との交易の窓口であって、納屋衆の合意によって経営する、中世では珍しい自治都市であるということで、東洋のベニスとまで、ヨーロッパに喧伝され、新しい物が次ぎ次ぎ発信されて行った実績があるといえましょう。

この輝かしい堺の伝統を、地場産業の立場から発信基地の一端を担って、21世紀へつなぐためにどのように展開す

るか、伝統に根を降ろした新しい発想が望まれます。それは、現代の暮らしの中に役立つ快適な製品を創造し、それを国内は言うまでもなく、海外へも送り出す、生活情報の発信基地として、具体的に行動することでありませう。

過日、堺刃物のニューデザインを、全国規模で募集されましたが、堺が発信基地と成るための一つの行動と言えませう。新しい製品の創造は容易な事ではありませんが、それであるからこそ、価値があると言えませう。SADAの果たす役割が、いよいよ重要に成ってまいります。



自由都市「堺」の周辺に巡らした遺跡……南宗寺南

 ズームアップ

悲しきキングコング

森 和雄

中百舌鳥の駅から、地下鉄御堂筋線の延長方向に5分程歩いたあたり、百舌鳥梅町三丁にちょっと人目を引く建物が出来ている。カジュアルウェアの店の様だか、なんとその屋根にはキングコングが乗っており、店に来る人達に掴みかからんばかりに構えている。ズームアップする必要もない程の大きさである。

如何にして堺の街に現われたのかその訳は知る由もない。文化の香りに誘われてやって来たとも思えない。

やがて周囲の街並に調和出来なくなった時、単なる話題作りだけの為に利用されたと知った時、キングコングは動き出し、堺の街を破壊し、新市庁舎の壁をよじ登ってゆくに違いない。

滅びの象徴のごときその姿を見るのはいつも悲しい。創造の名のもとで生み出される破壊は心に冬をもたらす。エンバイヤステートビルの露と消えた初代のキングコングでさえ美しいものを求めてやまなかったものを。



会員ニュース

■新会員をお迎えしました。

嘉味田 道雄さん／堺市船堂町244-44／株式会社トーケン

黒川 昌彦さん／堺市浜寺昭和町2-232-4／黒川梅行商店

(P-8 会員プロフィールに紹介)

〈賛助会員〉 ㈱黒川梅行商店／代表・黒川 真男さん

(P-8 会員プロフィールに紹介)

■住所等変更

●今村 忠尚さん／大阪市阿倍野区西田辺1-13-26プチ鶴ヶ丘内203号室／電06-639-8762／勤務先・井住総合開発株式会社

●尾崎 悦子さん／勤務先住所変更・〒590-01堺市向陵中町4-4-15／尾崎悦子フローラルアートスクール

●坂下 順二さん／昨春福岡から転勤で帰阪されましたが引き続きTAKASHIMAYA (FRANCE) S.A.勤務となり9月花のバリへ旅立たれました。引き続きスリーピングメンバーとして留まっています。最新バリ情報などが期待できそうです。

●田中 賢次さん／福岡へ転勤されて3年になります。／自宅・福岡市早良区南庄6-6-8・OGハウス402／電092-284-5662／勤務先・高島屋福岡事業所／スリーピングメンバーが二人となりました。ご活躍を祈ります。

●垣村 三平さん／勤務先・株式会社龍村美術織物

●安永 一典さん／平成2年12月一杯で株式会社大丸装工事事業部を退社されました。平成3年4月より、宝塚造形芸術大学へお勤めになる予定です。自宅も新築され心機一転張り切っておられます。

■賛助会員代表者交代

●村上敦物株式会社／村上 健社長

●大誓株式会社／布谷 英雄社長／河盛 泰三前社長は会長に就任されました。

表紙の周辺

堺市新庁舎第一期工事〈高層棟〉が完成した。地下4階、地上21階、塔屋2階、軒高84.6m、最高部高さ94.6mの規模を持つ。市内で最も高い建築となり、市の新しいシンボルとして、その雄姿を見せた。

ポストモダンの建築を見慣れたこの頃の私達には、この外観はあっさりしすぎていていささか物足りない……？

とかく立派に出来過ぎて問題になりがちなお役所建築のデザインに大変気を使われたのではないかと、見るほうもちょっと気を回し過ぎて…。

福の部分に在来の庁舎がまだ機能し続けているので、計画全体のイメージは掴みにくいが、二期工事の後旧庁舎が取り壊され市民広場として再生されたとき、新市庁舎がその空間とどのようにかかわりあって現れるのか、今から楽しみである。

編集後記

創立五周年記念号を出したら急に気が抜けて次号の編集がさっぱり手に付かなくなりました。力の入った仕事の後はとんと集中力が妨げなくなることが多くなりました。前号の編集後記を読むと恥ずかしくなります。

人を動かすのはやはり人だと思えます。ニュースを創るものは情報です。SADAニュースは会員相互の理解を深めるために一人一人の考えや行動の情報を知らせあって行きたいと考えております。SADA周囲の方々にも堺のデザイン事情を伝え、また周囲のデザイン情報を会員に伝えることも役目だと思っております。

皆様の積極的なご参加をお願い致します。(山崎)

会報 SADA 11号
平成3年3月31日

発行 堺デザイン協会
〒590 堺市北向陽町1-1-7 オカムラデザインプロ内TEL0722-29-5011
編集 堺デザイン協会広報委員会